



江別市自治会連絡協議会 ななかまど

自連協ホームページはこちら!



題字の「ななかまど」は江別市の木です

- P1 … 会長挨拶 / 役員挨拶
- P2-4 … 市長との対話集会
- P5 … 令和6年度自治会活動研修会を開催しました / 自連協ホームページをご利用ください
- P6 … 北海道町内会連合会共済掛金の口座振替 / 次年度補助金申請準備について
- P7 … 江別市貢献賞 / 住区会館を利用しませんか?
- P8 … 自治会活動掲示板 / 編集後記

ななかまど目次



謹賀新年



江別市自治会連絡協議会
会長 村瀬 脩

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

江別市自治会連絡協議会が昨年計画した年間行事を全て進めることが出来ましたが、これは会員の皆様方の温かいご理解とご協力の賜物であり深く感謝申し上げます。

昨年は地震と大雨の二度にわたり能登地方を襲った大きな災害、さらに災害といっても過言でない程の記録的な猛暑が続き農作物に大きな被害がでたりと、改めて自然の恐ろしさを実感したのではないのでしょうか。今一度、災害時の対応を考えたいものです。

江別市も人口減少が始まってきていますが、一方で市有地の利活用による住宅開発と鉄道林跡地への住宅開発が並行して進行、更に大型店舗の移転事業等がスタートしており、特に子育て世代の江別市への移住と地域の活性化に期待したいと思えます。

さて、江別市では「第7次江別市総合計画」がスタートし、その中に自治会としての期待される役割も取り上げられており、「幸せが未来へつづくまち えべつ」実現のため当協議会としても行政との協働に更に努めてまいりたいと考えますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新年を迎え、皆様の益々のご多幸とご健勝をお祈り申し上げご挨拶と致します。

昨年は、当協議会の事業推進に格別のご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。
本年も自治会活動の向上に役員一同一層の努力をして参りますので、ご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|
| 〈会長〉 村瀬 脩 | 田原 寿夫 | 小田島 篤 | 高川 一伸 |
| 〈副会長〉 砂川 英雄 | 森谷 良雄 | | |
| | 今林 隆一郎 | | |
| 〈理事〉 裏 悦 瑞 | 米谷 勝行 | 矢崎 聖 順 | 小松 健二 |
| | 村上 豊 | 松野 茂 | 谷内 薫 |
| | 星野 富士男 | 石垣 巧 | 大藤 榮治 |
| | 岩田 草平 | 工藤 正義 | 高橋 安雄 |
| | 小林 徹 男 | 小山 千賀子 | 田村 裕明 |
| | 木葉 淳 | 島田 泰美 | 片桐 雅人 |
| | | 岩村 ヒロ子 | 小田島 和平 |
| 〈監事〉 鈴木 良二 | | | |

【江別市自治会連絡協議会】

用紙・事務用品・オフィス家具
OA機器・学校教材



江別市高砂町10番地(市役所横)
電話(代)382-2553・FAX385-7878

建物解体工事・自動車運送事業
砂利・砂・黒土・火山灰・生コン販売
除排雪業務・重機一式



江別市東野幌 220 番地
☎(代) 382-3769

令和6年度 江別・野幌・大麻地区連主催

市長との対話集会



10/31 大麻地区自治連合会連絡協議会

<テーマ1 空き家対策について>

要望

空き家が増え放置されると、地域の治安・景観・衛生等、多くの問題が発生する。空き家対策が地域の活気がよみがえる新陳代謝のチャンスと捉えれば、空き家問題は地域再開発の大きな資産である。この機会を捉え、空き家対策を更に進めることを希望する。

回答

空き家は、全国的に増加している状況であり、昨年の「空家等対策の推進に関する特別措置法」の改正で、放置すれば特定空き家等になる恐れのある管理不全空家等に対して、市町村から指導・勧告が可能となり、より一層の空き家対策に取り組んでいるところである。江別市内では、利用目的がない空き家の割合は、道内35市の中でも一番低い状況であるが、空き家が流通に乗り住み替えが進むよう、住み替えをする形の中で、江別市に住みたいと思ってもらえるよう取り組んでいきたい。



<テーマ2 高齢者のための交通支援について>

要望

生活道路の再整備について、道路工事後の占用工事などで路面のデコボコが酷く、高齢者の歩行の際危険である。改善してほしい。

日常の買い物、通院、趣味を続けるための手段として自動車はなくてはならないものであるが、高齢者は

免許証の返納を度々求められる。自動車に代わるものとして、タクシー、バス、JRに利用できる「敬老バス」の助成やコミュニティバスの導入に関して市の政策についてはどのようになっているか。また、運転免許証返納への不安や不満の解消のための市の政策を聞きたい。

回答

市道については、事前に埋設管工事など計画があるものについては、それと併せて道路工事を行っているところである。また、部分的な舗装修繕も行っており、今後も改修に努めたい。

敬老バスのようなものは現在実施がない。厳しい財政状況であり、高齢者の方々への交通支援はどのような方法がよいのか今後も検討していきたい。コミュニティバスは、路線バスを補完するものであるため、路線バスと競合する市街地での実施は難しい。

運転免許証返納者に対しては、江別市と協定しているコープさっぽろでは買い物したものを自宅まで配送してくれるサービスがある。ほかにも、さっぽろ連携中枢都市圏や北海道においても運転免許証返納者がサービスを受けられる制度があるが、いずれも協賛事業者がまだ少ない状況である。

自主返納の促進には、返納しやすい環境の整備が重要と認識しているため、今後も関係機関と連携し、免許返納のメリットを周知するほか、高齢者運転免許自主返納サポート制度等の充実に取り組んでいきたい。

<テーマ3 自動車事故を減らすための「デイ・ライト運動」の展開>

要望

自動車事故を減らすための「デイ・ライト運動」について、実施することを提案する。啓発活動、パンフレットの配付、のぼりや看板の設置等、各種団体と協力して展開する必要があるが、交通安全に取り組む市としてイメージアップの効果が期待できると考える。

回答

デイ・ライト運動は、日中からライトを点灯させることで他の運転者や歩行者に対して自動車の存在を知らせて交通事故防止を図る運動である。こうした取組は重要であり、歩行者も夜間は蛍光反射材を付けたり、横断歩道では渡ることを意思表示することが大切である。

今年から、北海道警察で「ハンドサインでストップ運動」を始めた。この運動は、歩行者は横断歩道で手を挙げるなどの渡りたいという意思表示をし、停止した運転者は、歩行者に「お先にどうぞ」と手で合図するもので、交通安全の認識を深める運動である。



むすめやホール大麻

江別市大麻中町26番地
電話387-1144 FAX387-1756



土木工事・除排雪

上野産業株式会社

代表取締役 上野 聡志

〒069-0841 江別市大麻元町188番地
(TEL)386-8555 (FAX)386-1207

今後も交通安全対策を広めていくためのアイデアがあれば、ご提案いただきたい。

11/7 江別地区自治会連絡協議会

<テーマ 江別駅周辺の「まちづくり」と「活性化」について>

要 望

道の駅を伴った江別駅舎及びその周辺の全面刷新による、江別駅のイメージアップを図りたい。

回 答

江別駅周辺の活性化は、江別市にとっても大きな課題である。江別小学校跡地に求められる核となる施設について、商業施設の誘致や、子育て支援施設の設置などに活用できないかを含めて検討している。以前、企画政策部で江別小学校の跡地にどんな施設が必要かアンケートを取り、商業施設や量販店があると人のにぎわいが増えるとの声があったことも含め、検討を続けていきたい。

道の駅の建設については、約2万4,000㎡の広さが必要である。建物や駐車場、その他の施設を合わせるとかなり広さがないと、道の駅の建設は難しいと言われているため、江別駅の場所にはなかなか作りにくいと考えている。

第2次江別市観光振興計画（令和6年3月策定）では、「野菜の駅」や「町村農場」、「E B R I」、「江別河川防災ステーション」等の今ある施設を活かして江別市をPRしていくことを記載している。それらを道の駅のような施設として、江別市をPRしていきたい。

また、江別市かわまちづくり計画が進められている中で、堤防工事に伴う、旧岡田倉庫の移設を予定している。移設後の旧岡田倉庫を江別駅前の新たな拠点として、現在利活用の方法を検討している。

要 望

日本ハムファイターズの2軍本拠地の誘致してほしい。

回 答

江別市から球団に問い合わせはしているが、現時点では、何も決まっていないとの回答をいただいている。

江別市としては、企画政策部を中心に他球団の事例を調べている。土地や財源の確保の課題はあるが、そのような施設ができると江別市にとっても魅力的なコンテンツになると考えることから、誘致のためにどのようなことができるかを検討する必要がある。



11/18 野幌地区自治会連絡協議会

<テーマ1 災害に強い街づくりについて>

要 望

大規模地震に対する現状の備えと、今後の災害予測に基づく対応方針等について総論的な説明を聞きたい。

「防災あんしんマップ」において、江別市で「最大震度」を予測した被害想定に対し、住民が危機意識を持てるように周知や、避難所の開設順位や備蓄品の配備箇所の見直しを検討してほしい。

また、冬季は暖房機器が必要であるが、その備えはいかがか。

回 答

災害対応では、「自助」「共助」「公助」それぞれが役割を分担しながら理解し合い、協働によって実施することが大切である。

自助として、食料や飲料水などの最低3日できれば1週間分の備蓄、家族との連絡方法の確認、家具の転倒防止対策など、役所ではできないことをやっていただきたい。

市では、食料や飲料水、トイレ、暖房機器などの備蓄を10ヵ年計画の中で進めており、応急物資については、20を超える団体または企業と協定を締結している。災害時の情報伝達として、防災情報提供サービスやLINE、テレビのデジタル放送等で情報発信をしている。

避難所は、震災で自宅が全壊または半壊などで生活ができなくなった方が避難することを想定しており、被害の規模や避難者数に応じて、開設順位に基づいて段階的に開設することとしている。

被害規模に比べて避難所の開設数が多いと、物資の配給や市職員の配置などの分散、小中学校の避難所使用にあたっては授業再開の遅れなどのデメリットがある。甚大な被害が発生し、避難者の殺到が予想される場合は、例えば、開設順位の1位から3位までを同時に開設するなどの対応をしていきたい。

災害用備品は、開設順位や施設の備蓄スペースなどを考慮しながら、順次計画的に配置を進めており、野

明治38年創業、これからもお客様と共に歩んでいきます。

総合ホール 市民斎場 北野華苑

北野華苑 野幌
江別市野幌末広町31-2 ☎(011)383-6161

北野華苑 江別
江別市一番町4-2 ☎(011)391-2443

葬儀に関することは安心してお任せください。各宗教・家族葬・無宗教・法要のご相談承ります。

北野葬儀社 江別市2条5丁目 ☎(011)382-2332

夢工房 トンデンファーム
〒069-0805 江別市元野幌968-5
☎011-383-8226
<https://www.tondenfarm.co.jp>

かわいい動物とのふれあいと心躍る楽しい遊具がいっぱい

アースドリーム角山農場
☎011-391-2500

焼肉 笑山門
☎011-385-2989

旬彩館 すし笑
☎011-381-7778

公式オンラインショップ

幌鉄南地区についても、東野幌体育館に限らず、全小中学校に配置している。さらに、各施設管理者と検討を重ねながら、備蓄スペースの拡大、備蓄品の充実を図っているところである。

冬季の備えは、暖房機器、それに必要な発電機、ポータブル電源、毛布、アルミマットなどの備蓄を進めている。ほかに、断熱材や段ボールベッドの供給、各種暖房機器のレンタルなど、関連企業と協定を締結し準備をしている。

<テーマ2 交通費助成について>

要 望

高齢者に対する交通費の助成制度導入の検討してほしい。高齢者の外出の機会を増やすことにより、引きこもり防止、健康維持、運転免許返納の促進、受診控えの防止等の効果が期待できるのではないか。

回 答

現状、高齢であるということをも理由にした交通費の助成は行っていない。2040年まで高齢者の人口増加が想定されており、現在江別市で実施している福祉除雪サービス、高齢者福祉サービスの事業費が上がっていくことが想定される。この辺を含めた中で交通費はどうあるべきなのか、総合的に考えていかなければならないことを理解いただきたい。

運転免許証返納者に対しては、江別市と協定しているコープさっぽろでは買い物したものを自宅まで配送してくれるサービスがある。ほかに、さっぽろ連携中枢都市圏や北海道において運転免許証返納者がサービスを受けられる制度があるが、いずれも協賛事業者がまだ少ない状況である。免許を返納したときに、少しでも不自由のないような生活ができるように、返納しやすい環境の整備が重要と認識している。今後も関係機関と連携していく。



市からのお知らせ

【1】 デジタル政策の取組について

スマートフォンの利用に不安のある高齢者の方などを対象に、スマホ教室を実施しており、基本的な使用

方法のほか、家族や知人などと連絡を取り合うために使うメールやLINEのサービスについて説明をしている。スマートフォンの基本的な操作を学びたいという方がいれば、ぜひご利用いただきたい。

市では平成29年、健康都市宣言を行い、北海道情報大学と連携して、食と健康の臨床試験等の健康に関する取り組みを進めてきた。令和5年3月から、スマートフォンを使って健康管理などができるサービスを提供しておりスマートウォッチ（eウォッチ）の無料貸し出しを行っているので、ぜひご利用いただきたい。

【2】 野幌若葉町市有地及び野幌松並町鉄道林跡地における開発について

令和6年2月5日に魅力あるまちづくりに関する連携協定を締結した江別市、JR北海道、コープさっぽろの3者は、10月16日に開発の概要を公表した。

野幌若葉町市有地は、積水化学工業株式会社を土地売買の契約候補者として決定。今後議会の議決を経て、本契約を締結した後、土地を購入する積水化学工業株式会社が開発主体となり、早ければ令和7年度中の着工を想定している。

野幌松並町の鉄道林跡地は、JR北海道が宅地造成を行い、9丁目通りを挟んだ向かい側は、コープさっぽろがスーパーのほか、物販店や、飲食店、放課後児童クラブを設置する開発工事を施工中である。

【3】 道路交通法の改正について

道路交通法の改正により、11月1日から自転車の危険な運転に新しく罰則が整備された。スマートフォンなどを手で保持して自転車に乗りながら通話する行為や画面を注視する行為など運転中の「ながらスマホ」や、「酒気帯び運転及び幫助」が新たに禁止され、罰則が科せられる。周りの方へも周知願いたい。

【4】 水道料金・下水道使用料を2か月ごとの請求に変更することについて

人口減少や節水型機器の普及による水需要の減少や物価高騰の影響などから、上下水道事業の経営は厳しい状況であり、各種収納手数料や納入通知書等の郵送料などの経費を節減し、現行料金をできるだけ長く維持するため、現行、毎月請求している水道料金、下水道使用料について、令和7年9月の水道メーター検針分から2ヶ月ごとの請求に変更する。

また、令和7年3月のお知らせをもって、水道料金等口座振替済領収のお知らせの発行を休止する。なお、令和7年9月からは、検針票に直前の口座振替結果が印字される。

電気工事設計施工
電気器具販売
有限会社 **白旗電機商会**

江別市牧場町36番地17
TEL(011)382-2617
FAX(011)382-2680



■印刷のことならお気軽にご相談ください

笹岡印刷株式会社

〒067-0031 江別市元町32-2
TEL 011-383-8133 FAX 011-383-8190
sasaoka_print@adagio.ocn.ne.jp